

パラスポーツの支援

「社員に成長与える」

県立特別支援学校さいたま校高等学園(さいたま市桜区)で障害者雇用セミナーが行われ、あいおいニッセイ同和損害保険(東京都渋谷区)経営企画部スポーツ振興担当次長の倉田秀道氏(59)が「企業におけるパラスポーツ支援」と題して講演した。障害者雇用を推進する同校の学校説明会の一環で、県内や都内の企業から人事担当者ら約50人が参加した。

同社は2014年からパラスポーツ支援を開始し、障害者雇用・活躍に取り組んでいる。倉田氏は「競技と業務を両立する、その人に合った雇



用プランがあり、練習時間の確保や遠征費用の支給など強くなるためのバックアップ体制もある」と説明。自治体と連携した地域貢献活動も「選手活躍と成長の場」と位置付け、積極的に取り組む。パラスポーツ支援は売り上げには結びつかないが、目に見えない効果を社員にもたらす。成長や気付きを与え、共生社

「パラスポーツ支援は心のバリアフリー化をかなえる」と話す倉田秀道氏。さいたま市桜区のさいたま校高等学園

会への理解を深めてくれる」と述べた。

同校卒業生でパラ陸上選手でもある同社埼玉支店の岡野華子さん(21)も壇上に立ち、「多くの仕事を任せられ、役に立っているという実感がある」と日頃の業務内容を紹介した。

同校の学校説明会はコロナ禍の影響で2年ぶりの実施だが、担当者は「実習などを通じたジョブマッチングが功を奏し、企業の採用意欲は高まっている。今後も一般就労と職場定着の向上を目指したい」と話していた。

(山田浩美)